

豊岡特産のかばんのメーカーでつくる兵庫県靴工業組合（豊岡市）が縫製技術を生かし、医療用の使い捨て不織布製ガウンの製造を始めた。新型コロナウイルスの感染拡大で医療物資が不足する中、経済産業省などの呼び掛けを受け、繊維商社「帝人フロンティア」（大阪市北区）が取り組む事業の一環。8月末までに80万着を納品予定で、同組合は「医療現場の一助になれるとともに、（新型コロナウイルス不況下で）雇用の確保にもつながる」としている。

## 縫製技術生かし医療用ガウン製造 豊岡靴産地 底力を結集



新型コロナウイルス対策の補助金1500万円を活用して裁断機を購入し、同市加広町の空き店舗を活用して簡易工場も設けた。ガウンはかっぱう着状。帝人から提供された素材を工場で裁断し、各社が持ち

かばんの縫製技術を生かした医療用ガウンを手にする兵庫県靴工業組合の由利昇三郎理事長（中央）ら＝豊岡市役所

帰って縫製した後、再び工場に集めて検品し出荷する。かばんより素材が薄く、糸も細いが、各社がアイデアを持ち寄り、効率の良い生産方法を考案。研修などを経て既に8社が生産を始め、6月上旬からフル稼働できる見通し。

同組合受注分の総事業費は2億6400万円。コロナの影響で夏季の受注が前年比8〜9割減の企業が多い中、約2千人分の雇用が守れたと同組合は試算する。由利理事長は「従業員も意欲を高めている。スピードが求められるが、豊岡のかばん産地として取り組む以上、品質にはこだわると話している。（阿部江利）

### NIEワークシート／小学校中学年～中学校／社会、総合

名前【 】

とくさん ゆうめい とし  
① 特産のかばんが有名な兵庫県の都市はどこでしょうか。

市

せいぞう  
② 何の製造を始めましたか。

いりょうよう ふしよくふせい せいぞう  
医療用の不織布製の製造

かばん りじちょう  
③ 兵庫県靴工業組合理事長の言葉を書き入れましょう。

じゅうぎょういん  
従業員も   を高めている。スピードが求められるが、

かばん  
靴産地として取り組む以上、  にはこだわる。

④ この記事の感想を書きましょう。